

# チーム

東 中 学 校  
女子バレーボール部通信  
NO、163号  
4月30日(火)

## 原点に戻って!

満を持して臨んだはずの春の大会。結果は、決して満足いくものではありませんでした。もちろん技術的に相手に劣っていた面もたくさんありました。しかし、先生が一番悔しかったのは『自分たちの力を全く出せなかったこと』です。もちろん自分たちの力を出せなかったことが、今の実力なのでしょうが、正直、もう少しやれると思っていました。しかし、そんな風に考えてしまっていた先生自身が、一番甘かったのかもしれません。

大会の翌日の練習前に技術面の改善点を数点と共に、

○元気よく、必死にやろう。もっと良い雰囲気をつくっていこう!

○思い切ってスパイクを打とう!

という2つのことをみんなに投げかけました。負けてから翌日の朝を迎えるまでに先生が考えた結論です。

どこかで小手先だけの技術に走ってしまったり、必死に取り組むことの大切さを忘れてしまったりしてはいなかっただろうか。どこかで誰かに頼ってしまっていた部分はなかっただろうか。練習で必死にやってこそ、ここ一番という状況で力を発揮できるだろうし、練習はみんなの力で創り上げてこそ、より質の高い練習になっていくはずです。いよいよ中総体まで2か月半になりました。今一度、原点に戻って、自分自身のバレーボールに対する姿勢を見つめなおしましょう。



## 【試合以外の面で・・・】

- ▲試合前の練習内容の伝達。
- ▲スパイク練習をする向き。
- ▲練習の時に転がるボールの量
- ▲合同練習に対する甘さ

先日の大会の時に、試合以外で先生がみんなに注意したことです。先生自身、大会中にこんなことを言いたくないし、言うべきではなかったのかもしれませんが、しかし、言わずに試合に臨ませることはできませんでした。「**試合をするにあたって大切なこと**」、今一度、一人ひとりが考えよう。



## 【保護者の皆さんへ】

先日は応援や会場への送迎、ありがとうございました。結果としては、秋の大会に続き残念な結果となってしまいましたが、翌日から気持ちを切り替えて、夏の中総体に向けて再スタートを切りました。中総体に向け、練習試合に出かけることも多くなるかと思います。詳細につきましては、部活懇談会の時にお話ができるかと思います。このチームも残り3か月あまりとなりました。今後ともよろしくお願いします。

